

きたはら



令和元年6月28日
練馬区立北原小学校
学校通信
NO. 627号

教育目標 よく考える子供 思いやりのある子供 明るくたくましい子供

プログラミング教育

校長 岩井 一雄

朝、校門に立って子供たちに挨拶をしていると、見知らぬ方から道を尋ねられることがあります。「笹目通りには、この方向でいいのでしょうか。」などと聞かれて答えた後、うまく伝わったろうか、と少し心配になることがあります。自分の案内に「そこをこう行って・・・」などの曖昧な言葉が多かったことに、後から気付くからです。言葉を使い具体的な情報を、順を追って的確に伝える難しさを実感します。

自分の思いを相手に言葉でうまく伝えられないといえ、学校で起きる子供同士のけんかにもそういう側面がよくあります。一見相手を怒らせる態度や言葉遣いが原因のようでも、よく話を聞いてみると言葉の伝え方が不十分だったゆえにけんかになったということがよくあります。このような子供の実態に対して「言葉でわかりやすく相手に伝えること」をねらいとした国語の授業の実践が新聞で紹介されていました。

この授業はロボットに言葉で指示を与えて、お菓子の箱を開けさせるという設定です。担任が扮するロボットに子供たちが指示を出します。「箱を持って蓋を開けてください」と言われたロボットは、蓋を箱全体と一緒にわしづかみにして持ち上げ、その後はどうにもなりません。「箱の側面を片方の手で持ち、もう片方の手で蓋をつかんで開ける」という一連の動きを順番に、動きの方向や大きさ、速さや力加減などまで細かく指示していかないと、目的を果たすことはできません。普段なら、「分かってくれない」と口にする子供たちも、指示する言葉通りに動かないロボットを見れば、自分たちの言葉が不適切だからだということに気付きます。そして、ロボットに伝わる言葉は何か、分かりやすい表現を選び、順序よく組み合わせる伝えることの大切さを学びます。

担任が扮するロボットではなく、本当のロボットが相手なら、もっと楽しそうだな、などと思ったら、この国語の学習は言語能力を育てると同時に「プログラミング的思考」を育てる学習でもあることに気付きました。この思考力の育成は、新しい学習指導要領で取り上げている「プログラミング教育」の中核と言われています。「プログラミング教育」とは、コンピュータが日常の様々な場面で使われ、生活を便利にしていることや、コンピュータに意図した処理を行わせるためには、必要な手順があり、人が作ったプログラムで動いていることなどに体験を通して気付くことができるようにするものです。そして、「プログラミング的思考」とは、自分が意図する一連の動きを分けて考え、動きに対応した命令にして組み合わせ、うまくいかない場合には、どこが間違っていたのかを考えて修正や改善を行っていくという、物事を論理的に考えていく力です。

「こうしたい」という目的を達するために「こうしよう こうなった」という試行錯誤を繰り返して、よい方法を考える「プログラミング的思考」は、実はわたくしたちに身近な思考法ではないかと思えます。冒頭に述べた「道案内」には、まさにこの思考が必要です。人の言葉や感性が衰えているようにも感じる昨今、「プログラミング教育」が豊かな人間関係を築く力の育成にもつなげられたらと考えます。



5年生 移動教室の思い出



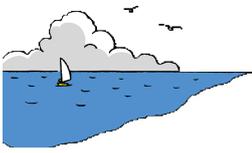
5年生は6月13日から2泊3日の移動教室で長野県の武石に行ってきました。

- わたしは、キャンプファイヤーがとても心に残りました。みんなとおどったり、歌を歌ったり、遊んだりしました。キャンプファイヤーは、大ぜいでやるととても楽しかったです。四年生の時に運動会でおどったUSAを、またみんなとおどれるなんて、思っていませんでした。とてもなつかしくてつついんるんになってしまいました。
- 特に心に残ったことは、鷹山ファミリー牧場での動物とのふれあいです。中でも牛は遠くからしか見たことなく、少しこわいイメージだったけど、実際に行って体験するとこわくなく人なつっこい牛もたくさんいて、かわいく思えてきました。さわるとしっぽをふってくれたり、ブラシをかけるとよろこんでくれたり、とてもうれしかったです。ヤギの散歩では、ヤギのマイペースな一面も見ることができました。
- 特に心に残ったことは、きもだめしです。出発すると、とびらがドンドンとたたかれたり、すずの音がしたりというくらいでした。しかし、半分くらい来たところで背中をさわられて、ひやひやしながら後ろをふり向くとかみの長い女の人がありました。急いで逃げました。そして、いすの布から、何か出てくる予感がして、「せーの。」で走りました。何か出てきたのですが、走ったので、よく分かりませんでした。

- 特に心に残ったことは、松井農園での摘果体験です。農園に着いたら、地面にりんごのような小さい実が落ちていて、「これは何だろう。」と思いました。農園の職員の方から、一番大きいりんご以外を取ってしまうと聞いておどろきました。取った小さいりんごが地面に落ちているのは、そのりんごが肥料になるからだとして聞いて、納得しました。摘果体験をして、農家の方の大変さを知ることができました。
- 特に心に残ったのは、ハイキングをしたことです。リフトの中から自然を感じるすることができました。山頂からは、予想以上の美しい絶景を楽しむことができました。また、石が大量にあるでこぼこ道を下り、八島湿原に行きました。湿原に行くのは初めてでしたが、湿原でも予想以上の緑を見ることができました。ぼくは、移動教室の体験を通して、自然を大切にしていこうと思いました。
- 特にキャンプファイヤーが楽しかったです。理由は3つあります。1つめは、ダンス係だったからです。みんなの前でおどったときはきんちょうしたけど、みんなのお手本にはなれたかと思います。2つめは、火のはく力です。炎の前はすごく熱かったので「もえるよもえる」の歌が合っていました。3つめは、天気にもぐまれたことです。雨が降っていたらできなかつたので、できてよかったです。

- 特に心に残ったことは、キャンプファイヤーです。なぜかというと、みんなで「USA」や「3年A組」を踊り、復活じゃんけん列車などのゲームを炎の周りでやったからです。また、松井農園では、まだ熟成していないリンゴの実を摘果する体験をしました。摘果するのは、固くて難しかったけれども、もぎ取った瞬間は、とても気持ちがよかったです。
- 心に残ったことは、鷹山ファミリー牧場です。牛の乳搾りや、ヤギの散歩をしました。ヤギは、高い所に登るのが得意ということを知りました。それに、ヤギは胃袋が4つもあるので、散歩をさせるとすぐに草を食べていました。牧場では、ヤギやウサギや牛たちは、人間のために生まれ、人間のために命を落とす生き物だということも教えてもらいました。
- 心に残ったことは、1日目の車山ハイキングです。登りはリフトでした。下山はハイキングをしました。ごろごろした石がたくさんあり、広い湿原を見ることができました。リフトからは、絶景を見ることができました。富士山や野生の鹿を見ることもできました。天候にも恵まれ、よい1日目になりました。





6年生 移動教室の思い出

6年生は5月27日から3泊4日の移動教室で千葉県の岩井に行ってきました。その思い出を、短歌にしました。

シャチのショー きれいなジャンプ 迫力に 見とれて油断 もうびしょびしょだ

製鉄所 スラブを延ばす 迫力は 通路もゆれる 想像以上

地ごくのぞき 見たことのない絶景に 心も震え 足も震える

サンドスキー ぐんぐん下る 砂山を みんながすべり スピード上がる

ペリカンの 大行進が かわいくて 歩く姿に 見とれていた

暗やみを てらしていく火 かがやいて みんなの声と 笑顔のように

スタジアム 大雨降った 海の王者 最後はびしょぬれ 拍手の嵐

登ったよ ロープウェーで 鋸山 景色は当然 みんな「きれい!!!」と

真っ暗で キレキレにおどる ピースサイン マイムマイムは 息ぴったりだ

わら細工 編む作業は 一苦労 不格好でも いい思い出だ

千枚田 初めてさわった 長いへビ 首巻きついた 力は互角

きれいだな 太陽の下 かがやいて また来ようかな 海も岩井も

海の前 トンビが横切り 大興奮 風が強いよ 大房岬

夜の中 ほのおを囲んだ みんなの輪 笑顔の光 ほのおの光

水しぶき 地層と雨と 合わさって 迫力すごい 地球の歴史

千枚田 棚田は千枚 なかったが すごい絶景 緑が多い

あざやかな 色に包まれ 海ほたる 目に映るのは 青白の海

わら細工 亀を作って 家に置く しばらくすると 家に福が来る



水泳指導について



今年度の水泳指導は、6月24日(月)から9月9日(月)まで行われます。子供たちは、プールに入るのが大好きで、楽しみにしています。低学年の水慣れから始まって、徐々に学年の状況に応じた泳力をつけていきます。毎年、子供たちは、自分の能力に応じた学習のめあてをもって水泳の学習に臨んでいます。9月のプール納めまでに、夏季水泳指導も含めてたくさん泳ぐことで、泳力が高められます。今年も子供たちがプールの学習を楽しく安全に行い、一人一人に力が付くように指導していきます。

本校では、9月に5年生が着衣泳を行う予定です。水難事故が起きたときに、浮いたり、移動したりする方法を学びます。

今月の生活指導 安全に生活しよう

夏に向けて学校では熱中症対策をとり、暑さに負けないで学習に取り組めるように教室の環境を整えていきます。

全校児童に「SNS 東京ノート」を配布し、インターネットの特性や使いすぎないためにはどうするかなどについて指導します。北原ルールを受けて家庭で話し合う時間を持ち家庭ルールを決め、「SNS 東京ノート」に記入させてください。

また、「防災ノート」と風水害予防の冊子「東京マイ・タイムライン」を配布いたします。災害についても御家庭で命を守るための話し合いをしてください。夏休み中には近くの防災体験施設に出かけるのもいいですね。

学校でも安全に生活できるように指導していきます。保護者の皆様の見守りや声かけの御協力をよろしくお願いいたします。

3年生の紹介です!

新しい教科への取り組み

3年生になって始まった社会と理科。

社会ではこれまで、北原小の周りを探検し、分かったことを絵地図にまとめるという学習をしてきました。このあとは練馬区全体の学習に広がっていきます。

理科では、昆虫の育ち方を学習中です。学校のミカンの木で見つけたアゲハの幼虫を観察し、さなぎになる様子も見ました。今は学校で購入したキャベツの苗に産み付けられた卵やかえった幼虫を育てています。

社会も理科も、身近なところからの学習です。授業で学んだことを元に、さらに深めたり興味を広げたりすることで、この新しい教科を好きになってくれたらうれしいなと思いながら、学習を進めています。

御家庭でも、話題にしていただけたらと思います。

お知らせ

◆保護者会

- 7月2日(火) 1・2年
- 7月3日(水) 5・6年
- 7月4日(木) 3・4年

※詳細は、学年便りを御覧ください。

※7月2日に行われるセーフティ教室に、ぜひ御参加ください。詳細については、配付済みのプリントを御覧ください。

◆学校公開

7月13日(土)は、北原さくらんぼフェスティバルです。8時50分から11時05分までが公開時間です。どうぞ御来校ください。

◆北原小40周年ロゴマークについて

4月に40周年ロゴマークを全校児童から募集しました。167作品の素敵な作品が寄せられ、その中から、4年3組の児童の作品が選ばれました。6月20日に撮影した航空写真では、全校児童がこの作品を表現しました。

7月の行事予定

1日(月)	委員会活動 谷原中出前授業 6年	22日(月)	夏季水泳指導① 個人面談①
2日(火)	セーフティ教室 保護者会 1・2年		学力補充教室始
3日(水)	保護者会 5・6年 情報モラル教室	23日(火)	夏季水泳指導② 個人面談②
4日(木)	都学力調査 5年 保護者会 3・4年	24日(水)	夏季水泳指導③ 個人面談③
8日(月)	クラブ活動	25日(木)	夏季水泳指導④ 個人面談④
9日(火)	安全指導日	26日(金)	夏季水泳指導⑤ 個人面談⑤
13日(土)	北原さくらんぼフェスティバル		学力補充教室終
16日(火)	避難訓練	29日(月)	夏季水泳指導⑥
19日(金)	1学期終業式	30日(火)	夏季水泳指導⑦
21日(日)	夏季休業日始	31日(水)	夏季水泳指導⑧